

# 一年間の内外の動向

Global Action Against Dementia G7 Legacy Event

2014 September Ottawa

2014 November, Tokyo

(Prevention and Care)

(Hosted by NCGG, MHLW)

2015年 1 月 新オレンジプラン

2015 February, Washington

2015年 2 月

認知症医療介護

推進フォーラム

2015 March Geneva

Global Action Against Dementia,

WHO Ministerial Meeting (資料 2)

2015年 5 月

健康・医療戦略推進

専門調査会

認知症臨床研究を促進

# New Orange Plan (2015-2017)

## 1. Inclusion of People of Dementia and their Family Caregivers

当事者治療参加、政策立案参加

## 2. Educational Program for better Understanding and Awareness to Dementia

偏見をなくし理解を深める啓発活動の推進

## 3. Timely Medical and Health Care Services adequate for the Stages of Dementia

病期と生活機能に応じた適切な医療ケアの選択

## 4. Promotion of Dementia-friendly Community

認知症に理解のある町づくり

## 5. Better Support for Family Caregivers

家族の介護負担への配慮

## 6. Driving Research of Prevention, New Drug, Rehabilitation & Care for Dementia

予防、創薬、リハビリ、ケアの研究を促進

## 7. Reinforcement of Measures for Younger Onset Dementia

第1回認知症に対する世界的取り組みに向けたWHO大臣会議活動  
提言 (2015年3月16-17日、於ジュネーブ) 参加者における共通認識

## *Care Today, Cure Tomorrow*

現在世界には認知症の人が4千7百万人おり、2030年にはその数は7千5百万人を超えると推測されている。そして、2050年には現在の約3倍もの数に達すると予想される。—中略—

以下の包括的原則及び対策が世界的に必要である。

# 認知症に関するスティグマや差別を克服するとともに認知症の人、その介護者、家族の積極的な参加を促すこと

# 予防やケアを改善し、研究を進展させるために関係者間の協力を醸成する。 認知症予防、ケア、リハビリテーションといった観点をメンタルヘルスや老化、介護、医療に関連する政策の中に取り入れる

以下略

分野	日本政府のコミットメント
ケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本はこれまで培ったケアの経験をもとに、ケア従事者の研修システムなどをアジア圏域やさらにこれを超えて世界と共有し、世界へ貢献。</li> <li>・日本は、ICTやロボット等を利用した新しいケアの可能性を追求し、蓄積された経験や知識を世界と共有することを検討する。</li> </ul>
治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国内で(将来の臨床研究を念頭に置いた)認知症の人のレジストリシステムの構築を目指しつつ、世界各国の同様の取組と連携を図れるよう各国と検討する。</li> </ul>
リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症に関する国家的なプラン(「認知症施策推進総合戦略」)</li> </ul>
研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は高品質・高効率な1万人規模の前向きコホート研究を開始し、各国とも協働し、パーソナライズされた危険因子や保護因子の同定や、認知症に関するリスクを軽減させる行動へとつなげる。</li> </ul>
権利	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は「認知症サポーター(認知症フレンド)」プログラム創始国として、世界に対して本プログラムを紹介、好事例の共有を図る。</li> <li>・同様の取組を行っている国々と協働し、情報共有効果検証などを行う。</li> </ul>
リスク軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は軽度認知障害(MCI)に対する介入コホートや、地域での認知症一次予防に関する研究を開始しており、今後、認知症に関するリスクを軽減するための実践や、それを実際にコミュニティで推進するための方策などについて研究し、その成果を世界と共有する。</li> </ul>

# 認知症臨床研究

平成22年

23年

24年

25年

26年

創薬／診断

Lead compound  
Anti Aβ (patent)  
Anti Tau (patent)

Amyloidイメージングと相関する  
血液バイオマーカーを開発

脳機能画像FDG-PET  
先進医療を獲得

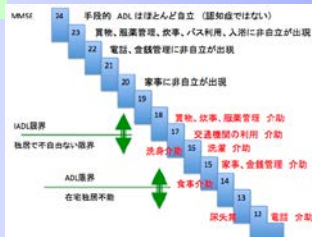
モデル医療

世界最大級認知症疾患センター  
新患1000人／年



データベース

認知症の進行と  
生活障害データベース



認知機能低下予防  
の CogNize



認知症血液、DNAデータベース



情報発信

認知症情報発信サイト開設  
Q and A 多数掲載



認知症医療介護推進フォーラム  
H25名古屋 H26東京

介護負担

家族教室で介護負担軽減



初期集中支援チーム  
で介護負担軽減効果

地域づくり



サポート医研修  
の加速

新オレンジプラン政策提言



人材育成

サポート医研修  
(500人／年)

政策提言

在宅医療政策提言  
認知症地域包括ケア  
の重要性を指摘

認知症医療介護推進会議設立

認知症G7サミット共催